



市民参画と協働による まちづくり通信

市民活動サポート講座を開催！

2月27日(月) 本年度のりっとうガンバル基金と協働事業提案の採択団体を対象に「市民活動サポート講座」を開催しました。3月の「成果報告会」の準備も兼ねて、これまでの活動や事業を振り返り、今後のステップアップについて考えました。



活動を振り返る際の視点として、公益性や先駆性、発展性などのいくつかのポイントをふまえ、実際に事業を行ってみたいの成果や課題、今後の展開などを各団体が発表しました。協働事業提案では、事業実施担当課の職員も参加し、協働することで得られた効果や苦労した点などを話し合いました。お互いの発表を聞いて、質問したり意見や情報の交換を行ったり、団体間



の交流を深める機会にもなりました。

りっとうガンバル基金・協働事業提案

「成果報告会」を開催します！

本年度に事業を実施した9団体が1年間の活動成果を発表します。報告会は公開で行います。まちづくりやボランティア、市民活動などに関心のある人の参加をお待ちしています！

日時：3月11日(日)

10時30分～12時30分

場所：栗東市役所 2階 第1会議室

発表団体：ガンバル基金<サロン・ドゥ・シニア、山の動く会、親支援グループはやま、マミーズバンド奏>、協働事業<滋賀ものづくりネット、レッツ栗東、農業後継者クラブ、栗東国際交流協会、ボランティア・市民活動支援センター>

協働によるまちづくり推進に向け職員研修

NPO法人ひとまち政策研究所の理事・仲野優子さんを講師に招き、若手職員向けの「協働によるまちづくり推進研修」を2月1日(水)に開催しました。「協働事業とは何か～どんなルールがあるのか～」と題し、仲野さんがかかわってこられた協働事業の事例など、ご自身の体験談もまじえながら、お話をいただきました。

協働の領域は、市民の発案によっ



てまだ行政施策となっていない課題に対応するなど、広がりを見せています。講演では、協働事業は団体支援とは別の施策であり、事業を進めるために実務レベルで必要なポイント(協議と役割分担、契約書の重要性など)を詳しく教えていただきました。また、NPOや市民活動団体の現状、市役所内での推進体制などについてもお話をいただきました。

参加職員からは「協働事業を行うときは、目的を密に共有し、よりよいまちづくりに励みたい」「NPOと行政は対等の関係で、お互い進歩する必要がある」などの感想が寄せられました。

本年度の協働事業提案、実施中！

「捨てればゴミ、活かせば資源！栗東エコごみ箱」滋賀ものづくりネットと環境政策課の協働事業。毎月第2日曜日にさきらシンボル広場で開かれている手づくり市「滋賀がいいもん市」で、廃食油を回収。昨年7月からの回収量は約300リットルで、売却額は約2000円に。売却益でゴーヤの苗を購入し、市民に配布する予定です。次回の滋賀がいいもん市の開催は3月11日(日)。ぜひご協力ください！

